

令和 4 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市西部コミュニティセンター及び交楽園	所管課	男女共生・生涯学習推進課
所在地	岐阜市下鵜飼一丁目105番地		
指定管理者名	岐阜市西部コミュニティセンター運営委員会		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	18,443,249円(令和4年度)		
施設の設置目的	地域住民の連帯意識を高め、快適で住みよい地域社会の形成に寄与すること		
施設概要	敷地面積 3,780㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積 2,239.77㎡ 防災会議室、集会室、教養娯楽室、生活相談室、大集会室、小会議室、料理教室、チビッ子室、駐車場 岐阜市西部図書館(併設施設)、岐阜市西部ふれあい保健センター(併設施設)		

●利用状況

		R04上半期	R03下半期	R03上半期	R02下半期	R02上半期
利用者数(単位:人)		20,342	21,774	8,784	19,480	8,832
各室稼働状況(%)	防災会議室	91.7	88.1	85.3	94.7	86.2
	集会室	88.5	85.4	83.3	85.3	78.0
	教養娯楽室	19.1	19.9	21.0	32.7	23.9
	生活相談室	47.1	53.0	41.1	50.7	33.9
	大集会室	79.0	62.9	64.7	70.7	51.4
	小会議室	47.8	55.0	44.1	34.0	34.9
	料理教室	10.8	13.9	9.8	14.7	22.9

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用を行っている。 ②適切な運用を行っている。 ③コミセンだより及びサークル一覧表を発行し、構成地域の地域住民を対象に回覧し、センターの活動状況などを紹介している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の要望などを聞きとり、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・提案事業	下記自主事業の実施(上半期) ①サークル活動支援事業「サークル体験説明会」 ②シニアの男性料理教室(6月) ③消防訓練(6月) ④防災研修会(7月) ⑤親子ふれあい教室	①6月の各サークル実施日に開催。21サークルで募集し参加者13名 ②新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 ③6月16日に実施。 ④7月9日に実施。西部コミセン運営委員及び各地域自主防災関係者計45名が参加した。 ⑤7月24日実施。「ブロックを使って動くロボットを作ろう」を開催し、14組33名の親子が参加した。

施設管理	日常点検 ①消防設備点検(自主点検) ②不審者、危険物(自主点検) 法定点検 ①昇降機保守点検(年1回) 定期点検 ①昇降機保守点検(年4回) ②し尿浄化槽保守(年52回)	日常点検 ①特記事項なし ②特記事項なし 法定点検 ①下半期に実施 定期点検 ①6/22、9/8に実施 ②毎週金曜日に実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施	日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市コミュニティセンター条例第7条の規定に基づき遵守している。 ②マニュアルを整備するとともに、年2回防災訓練を実施している。 ③関係法令を遵守し、管理・運営に努めている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	令和4年8月2日～8月31日実施(80件)
利用者アンケートの実施結果	◎利用した部屋は 防災会議室 32.5%、集会室 22.5%、教養娯楽室 2.5%、生活相談室 7.5%、大集会室 8.8%、小会議室 11.2%、料理教室 0%、併設施設 11.3% その他3.7% ◎スタッフの対応について 満足 65.4%、やや満足 16.7%、ふつう 17.9%、やや不満 0.0%、不満 0.0% ◎施設・設備について 満足 61.6%、やや満足 9.6%、ふつう 21.9%、やや不満 6.9%、不満 0.0% ◎全体的な満足度 満足 58.4%、やや満足 24.7%、ふつう 16.9%、やや不満 0.0%、不満 0.0% ◎年代 10歳未満 2.5%、10代 2.5%、20代 0%、30代 0%、40代 3.8%、50代 16.1% 60代 15.0%、70代 53.8%、80代以上 6.3%
利用者からの要望・苦情と対応・改善	・事務室に職員が不在で困ったことがある →屋外の作業等で事務室にいない場合がありますので、受付のドアホンを押していただければ対応できるようにしています。 ・冷房が弱い、エアコンが効いていない →エアコンは能力いっぱいの運転をしています。コロナ対策として扉や窓の開放をお願いしているので、効きが悪くなっていると思われます。 ・ガラスが汚れている→年に2回、定期的に清掃しています ・フラダンスをするとき鏡の前のピアノがじゃまになる(防災会議室) →ピアノを動かすことができるかどうか検討します ・部屋の電気がもう少し明るくなるとよい(大集会室) →LEDにするとかなり明るくなるので取り換えを要望していますが、高価なため進んでいません ・イスの片づけが難しい(集会室) →イスを高く積むのは大変なので、マットを置いてその上にも積めるようにしました。 ・ロビーに西部事務所にあるようなテーブルを2～3置いてほしい →限られたスペースなので、テーブルを置くことは困難と思います。 ・エレベーターは誰の希望で造ったのか →高齢者や障がいのある方など、だれもが暮らしやすいバリアフリー化の観点から、エレベーターの設置にご理解をお願いします。 ・駐車場の出口の右側にはカーブミラーがあるが、左はないので危ない →右側はコンクリート壁が続いて見通しが悪いのでミラーを設置しました。左側はフェンスなので設置していません。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	岐阜市西部コミュニティセンターの運営上の基本方針、平等利用を確保するための体制	・利用要領に従い、平等な施設利用の承認を行っているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌やチラシで広報されているか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	地域の生涯学習及びコミュニティ活動の推進を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進に資する業務を行っているか	A	A	A
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・地域の生涯学習、コミュニティ活動の場として提供されているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・運営委員会事業の内容を常に見直しを行っているか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備等の整備など）	・接遇等の職員研修が実施されているか ・定期的に備品の点検を行い、必要に応じて改善されているか	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理に関する経費の設定額の妥当性と経費縮減の方策	・収支予算と実績とは大きくかい離していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	A	A	A
		効率的な運営を図るための組織の構造、スタッフの配置	・職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障がないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	必要人材の配置と職能及び人材育成の方針	・業務に必要な研修を実施し資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令遵守は適切に行われているか	A	S	S
		施設管理を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進のため、ニーズを把握し、地域と一体となって、地域を巻き込んだイベント、社会活動の開催など	・地域の自治会連合会等の各種団体の代表者で構成する運営組織であり、地域に密着した運営が行われているか	A	A	A
		地元の住民の雇用及び貢献に関すること	・地域に密着した運営ができるよう、地元在住者を職員として採用しているか ・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組み に対する評価	・今期はコロナによる利用制限はなかったが、第7波では多くの感染者が発生し自主的に活動を自粛するサークルもあったことから、施設においては引き続き感染防止対策として検温、消毒、換気などを徹底した。 ・自主事業としては、サークル体験会を昨年は10月に実施したが、今年はコロナ禍で停滞しているサークル活動を早期に活性化させるため6月に実施した。また、親子ふれあい教室は、昨年に引き続き「ブロックを使って動くロボットを作ろう」を実施し、多くの参加者があり好評であった。 ・電気代縮減のため、ロビーやトイレなどの電気スイッチをこまめに切る、利用がない時間帯の通路を消灯するなどを行った。
前回までの意見の 取組み状況	・コロナウィルスがまん延する中で、引き続き感染防止対策は施設に求められている重要な業務として実施した。 ・アンケート調査で寄せられる意見については、可能な限り対応している。
今後の取組み	・コロナウィルス感染対策を十分に行いながら、「春のコミセンまつり」を実施するべく準備を進める。 ・燃料費や電気代の高騰で予算的に厳しいが、施設のLED化を出来る限り進めたい。 ・施設の老朽化が進んでいるので、日常的な点検を十分に行い早めの修繕を行う。

●所管課の意見

今年度上半期は、コロナウィルス感染対策と社会経済活動の両立という市長メッセージのもと、サークル体験会や親子ふれあい教室を実施した。サークル体験会は13名、文化講演会は33名が参加したが、実施に際して、マスクの着用・こまめな換気・消毒等、感染対策を徹底して行い、参加者が安心して活動に取り組めるよう努めた。また、電気代が高騰する中、電気スイッチをこまめに切ったり利用がない時間帯の通路を消灯したりと、職員の細かな配慮により電気代縮減に努めている。加えて施設管理の面では、消防設備点検で不具合のあった自動火災報知設備の取替修繕を迅速に行った。

8月に実施したアンケートの結果、施設・設備の管理状況の満足度は71.2%、全体的な満足度は83.1%と高く評価されている。今後も施設管理運営や職員の日頃の接遇意識に期待したい。

運営組織は、地域の自治会連合会をはじめ、各種団体の代表者により構成されており、利用者が利用しやすい運営方法の改善や施設の維持管理に努めるなど、適正な施設運営が行われていると評価できる。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・適切な管理運営がなされている。
- ・稼働率は高いが、利用する人は限定されているのではないかと。また、若い人の利用が少ないなど、年齢別、男女の偏りがあるので、講座の内容の見直しを検討すると良い。
- ・防災拠点としての機能も近年重要になってきているので、その点について明確化することも必要である。
- ・施設間のネットワークは大事で、各コミセンで効果があった取り組みについて共有できるようなネットワークがあると良い。
- ・男性利用者が少ないというアンケート結果を踏まえ、シニアの男性向けの料理教室を開催していることは評価できる。